#1679

2023.02.08

さくらサイエンスプログラム:
インドネシア・ベトナム・マレーシアとの技術研修報告会

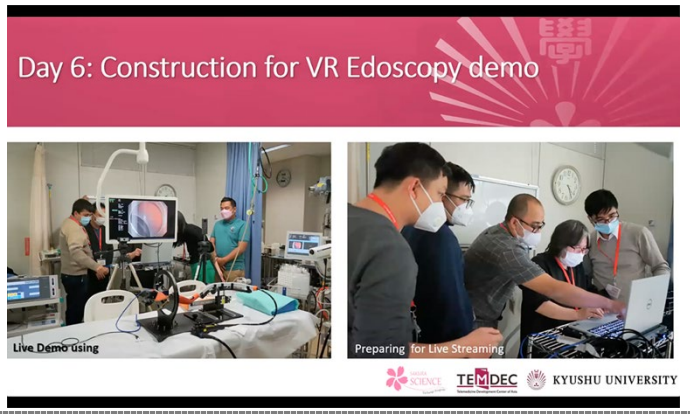
【 参　加　施　設 】	【 概　要 】
九州大学病院（日本），インドネシア大学（インドネシア），マラヤ大学（マレーシア），ニンビン総合病院（ベトナム），ビエット ドゥック 病院（ベトナム），タインホア眼科病院（ベトナム），スマトラウタラ大学，ブラウィジャヤ大学，セベラス・マレット大学 ムワルディ病院，スリウィジャヤ大学，ガジャ・マダ大学，ディポネゴロ大学（以上インドネシア），E ホスピタル，108 陸軍中央病院，ホーチミン市大学医療センター，ベトナム国立眼科研究所，NASATI オフィス（以上ベトナム）	今回の技術研修報告会では、さくらサイエンスプログラムでの活動について 4 か所の施設から発表が行われた。プログラムの参加者は皆、技術的な面だけでなく日本文化についても素晴らしい体験ができたことを伝えていた。また技術者たちが互いにサポートし合うことでとてもスムーズに進んだ。非常に貴重な時間であり、参加者にとって有意義なプログラムだった。TEMDECに感謝したい。

モニタに映し出される接続施設

撮影場所：九州大学病院

接続を調整するエンジニア

撮影場所：九州大学病院



掲示されたスライド

撮影場所：九州大学病院

技術研修の発表を行うMr. Zakaria

撮影場所：九州大学病院

掲示されたスライド

撮影場所：九州大学病院

報告会後の集合写真

撮影場所：九州大学病院